

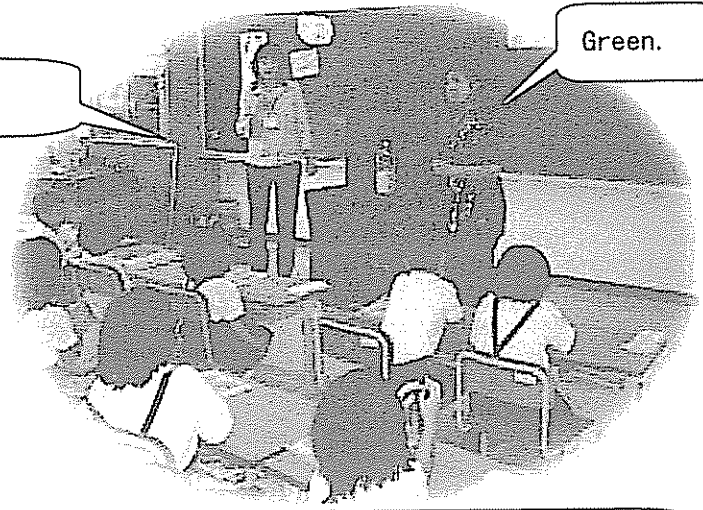
ワークショップ

INPUT・OUTPUTの 充実をめざす英語活動

『聞く・話す』活動を大切にした授業の工夫

What color is this?

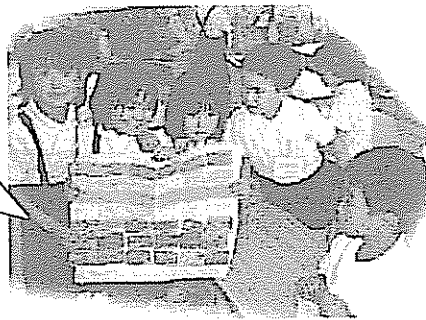
Green.



3つのキーワード
Eye to Eye
Listen carefully
Speak up!

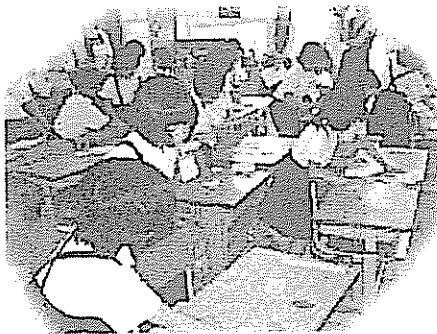
GTとHRTのカラーマジックを見ながら
色の言い方を知る

みんなであつ
くったよ。
Rainbow!



英語を手段にして
気持ちを伝え合う活動の工夫

英語活動を楽しむ



友だち関係を
深める

進んで
コミュニケーションを
図ろうとする

日時 12:45 ~ 13:15

場所 教育学部講義室 L棟107

学校名： 東広島市立高屋西小学校
所在地： 東広島市高屋町中島582番地
H P： <http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~takayanishi-sho/>
学年： 20学級 686名

(1) 英語活動の研究テーマ

本校では、「積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲と態度の育成」とし、「聞く・話す」活動を大切にしたい英語活動に取り組んでいる。

(2) 「聞く・話す」活動について

① 「聞く・話す」の定義

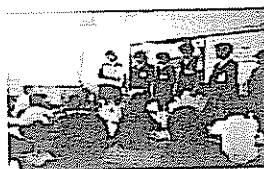
聞く：INPUT	話す：OUTPUT
聞くことは、周りのいろいろな情報を聞き、INPUTすることである。また、単に話を聞くだけでなく、相手の思っていることを推し量ったり、自分と比べたり、うなずいたり反応したりしながら聞くことであり、また分からない時聞き返すことでもある。	話すことは、取り入れた情報を基にして自分の考えを入れながら話す、つまりOUTPUTすることである。話すことは、「質問をする、質問に答える、自分の意見を言う、情報を知らせる、相手に反応する」に分けることができる。

② 「聞く・話す」活動における具体的な目標

	聞く (INPUT)	話す (OUTPUT)
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 相手を見て英語のリズムや繰り返しを楽しみながら聞く。 最後まで聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手を見て聞こえる声で話す。 最後まで話す。 言い方がわからない時は表情や身振りで伝える。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> よく聞こえないときや意味がよくわからない時はそのままにせず、Once more, please などと言って尋ねる。 相手の顔を見てうなずいたり反応したりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手を見て最後まではっきりと話す。 表情や身振りを交えて話す。 聞いた言葉を繰り返し、分からない時聞き返す。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話したいことを理解しようとして、相手の話に関心を持つ。 よく聞き取れなかったり、意味が理解できなかったりしたことを聞き返す。 分かった言葉を手がかりに話を聞き、内容を理解する。 相づちや問い返しなどの反応をしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の話している内容に反応して話す。 適切な声の大きさ・速さで話す。 絵や実物を活用して、工夫して話す。 自分が表現したい内容について、分からない言葉や言い回しを尋ねる。(How do you say ~in English?)

③ 「聞く・話す」活動の実践例

第1学年 (聞く)	ALTが6つのバスケットの中から1つ選んで、その中に入っている果物の名前を発音し、児童がどのバスケットかを当てるクイズを行った。児童は集中して聞くことができた。
第6学年 (聞く) (話す)	友だちの紹介を絵やジェスチャー等を使いながら、クイズにして出題した。工夫して発表している児童を見て、聞いている児童も自然にうなずいたり反応したりして聞くことができた。多くの児童が伝える楽しさを感じることができた。
全学年	聞く BINGO ゲーム、絵本の読み聞かせ、3ヒントクイズ、ALT トピックス(例 ALT の国のクリスマスにまつて聞く)など 話す インタビューゲーム、ドントセイ31、伝言ゲーム、Shout ゲームなど



「友だち紹介クイズ」自信をもって発話することができたと感想を述べている。<Kid's Timeより>

(3) 授業改善のポイント

中心活動の内容によって流れを変える場合もあるが、児童が主体的に活動できるように、次のように1時間の流れをパターン化している。特に、じっくりと英語を聞く場を授業の中に位置付け、しっかりALT等の英語を聞かせる。その後、練習を繰り返して「話す」活動を仕組んでいくようにしている。

活動	学習内容とねらい
Greeting	☆あいさつの場 ・大きな声で挨拶をすることにより、楽しい授業が始まることへの期待感を高める。
Song	☆楽しい雰囲気作りの場 ・歌いながら身体表現をすることにより、表現や語句を身に付けさせる。 ・英語の音やリズムに浸り、学習意欲をもたせる。
Listening Time	☆じっくりと英語を聞く場 ・いろいろなゲームや読み聞かせ、ALT の話などをじっくり聞かせることにより、英語の音やリズムに慣れさせる。
Kid's Time (高学年のみ)	☆本時の目標をつかむ場 ・本時のめあてを全員で確認し合う。 ☆子ども中心の場 ・既習の学習内容からゲームや問題を発想し、実行できるようにする。 ・相互にコミュニケーションできる場にする。 ・個性を引き出し、価値付け、自信をもたせる。
Activities	☆本時の中心活動 ・本時の活動の方法やルールを理解させる。 ・一人一人が英語で話す必要のある活動を設定する。
Comments	☆個のよさを認め、ほめ、広める場 ・自己評価・相互評価の場を設定する。
Closing	☆あいさつの場 ・学習終了の挨拶をし、次時の学習意欲を高める。

(4) 児童の実態からの考察

昨年度末のアンケート結果から、自分の思いを表現しようとしたり、伝えたいという思いをもって表情豊かに伝えたりすることに課題があるという結果が出た。

このことから、今年度は英語を手段として気持ちを伝え合う活動の工夫を行った。例えば、第5学年では、「スキット発表をしよう」の単元で、短いスキットを役になりきって演じる活動、第3学年では「あなたのTシャツはすばらしい」の単元で、お互いをほめ合うことによりコミュニケーションをスムーズに図ることができるようにする活動を行った。児童は、声に強弱や抑揚をつけたり、ジェスチャーを交えたりしながら、相手に自分の気持ちを伝えようと大変意欲的に活動した。